

中 コミュニティ・スクールだより

釧路市立共栄中学校 コミュニティ・スクールだより 第5号
平成29年 2月 9日 (木) コミュニティ・スクール事務局

平成28年度 釧路市立共栄中学校コミュニティ・スクール 第5回推進委員会

平成29年1月31日(火)に第5回目となる共栄中学校コミュニティ・スクール推進委員会が開催されました。今回の会議内容は、調査研究を進めてきた2年間の内容についてのまとめと今後のコミスク指定に向けた確認を行いました。

推進員もコミュニティ・スクールの指定に向けて「何を行えばよいのか」、「何を進めていけばよいのか」、「どんな関わりをすれば良いのか」など手探り状態で進めてきましたが、この2年を振り返ってみると「色々な活動に取り組むことができた。」また、「学校での取り組みに協力や支援をもらえる団体や町内会など様々な関係機関とつながることができた。」などコミュニティ・スクールを推進して良かった。などの意見が出されました。来年度の指定に向けて、今まで取り組んできたことがいつの間にか縮小されることなく、関係機関とつながり、活動がより発展していくような取り組みが行えるように頑張っていくことが大事なんだ。という意見でまとまりました。

○防災訓練など地域の人を交えて取り組めたことは大変良かった。小学校外国語活動に中学校の先生が手伝いに入ったことは小学校にとって非常に良かった。

○今後は、地域の取り組みに参加することや中高校生の町内活動への参加も考えられる。



○地域住民が中学生と直接つながることは難しい。しかし、地域の大人として、いじめを見たら止めさせる、朝晩の登下校の見守りや挨拶をすることは誰にでもできるので、気軽に中学生に声かけできるようになると良い。

○コミスクで大事なことは発信力だと思う。自ら学校の良いところ、取り組んでいることを発信していくことが大事だと思う。

「平成28年度 学校評価」の結果についての説明

事務局より今年度に行った学校評価の結果とその分析が説明されました。今年度の評価結果の傾向として、昨年度の評価よりも教職員・生徒・保護者ともに上がっていること。教職員と生徒の評価結果のズレがないこと。保護者への学校教育活動の周知・認知が低いこと。などが説明されました。今年度コミュニティ・スクール推進委員会でも学校と一緒に取り組んだ防災教育についての項目で評価がかなり上がっていたことに推進員もホッとしていました。

平成29年度 共栄中学校コミュニティ・スクール組織体制について

来年度のコミュニティ・スクール指定に向けて、活動を推進していく組織体制について検討していました。コミュニティ・スクールの指定を受けることで特別な取り組みを増やしていくのではなく、今取り組んでいる、活動していることを充実させる、今まで以上に関わりを広げていくことが継続して取り組むことにつながるのではないかと結論に至りました。そのため、組織体制も新たな部署や体制を整備することではなく、今の体制を活用していくことになりました。



ただ、組織体制が変わらないことで取り組みも変わらない、前年度踏襲で変化がないということになると、コミスクの活動がゆくゆくは惰性となり、活動自体が縮小されてしまうだろう。そうならないために、各担当がコミスクの意義を理解し、連携を図ることが確認されました。

また、今年度の取り組みの中で、PTA(保護者)が学校の活動に参加することによってその活動が活発になったり、保護者が学校に来やすい状況になっていることから、学校での取り組みにPTAが参加できる、子どもと一緒に活動できる活動や体制づくりに取り組む必要があることも意見として出されました。中でも、「保護者は先生からの声かけを待っている人もいます。」そのためには、保護者が学校に近づけるよう、先生方が接着剤の役割をして欲しい。との意見もあり、コミスク推進にあたり、PTA(保護者)の協力は不可欠であり、保護者を巻き込んでいくためには教職員の声かけが重要になってくることが分かりました。

